

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点

マスタープラン： 3つの挑戦 / 低炭素

施策番号： 5-1

局・課名： 環境局 環境エネルギー課

事業名	低炭素活動促進事業	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
			2,354	2,276	4,856	
事業概要	【目的】	債務負担行為	期間		要求額(千円)	
	CO2排出量が増加傾向にある民生部門において、環境に対する意識醸成を行い、環境活動に取り組む主体の拡大を図るとともに、中小企業をはじめ事業者の省エネ・省CO2対策が徹底されるよう各種省エネ診断を実施することにより、低炭素型ライフスタイルを創出し、快適な暮らしとまちの賑わいが持続する低炭素都市「クールシティ・堺」の実現に寄与することを目的とする。		R ~ R			
	【内容】	主な要求内容 (単位:千円)				
	<p>○クールシティ・堺パートナー制度では、パートナー制度参加企業を対象に温暖化対策に向けた勉強会や施設見学会を実施する。</p> <p>○子ども向けの自由研究エネルギーパークツアーを年2回夏に実施するほか、啓発パンフレットによる普及啓発を行う。</p> <p>○イベント等でうちエコ診断を年1回開催、簡易診断を年2回実施。</p> <p>○工場の総使用電力量の20%程度を占めるコンプレッサに特化した省エネ診断や工場等の熱源として使用されるボイラに特化した省エネ診断を実施する。</p>	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等	
		クールシティ・堺パートナー	225	223	勉強会場借上げ、謝礼金、旅費等	
		次世代エネルギーパーク	143	343	見学会等(車両借上等)	
		うちエコ診断等	250	161	診断業務(謝礼、印刷製本等)	
		堺太陽光発電所普及啓発	846	824	除草業務	
		金融機関との連携事業	111	109	会場借上費等	
		省エネアドバイザー派遣	448	457	委託料等	
省エネ技術講習等		253	303	旅費等		
J-クレジット制度			600	手数料等		
自然エネルギー協議会関係				344	旅費等【環境都市推進事業から移行】	
その他諸経費			1,492	旅費、消耗品等【環境都市推進事業から移行】		
	合計	2,276	4,856			
【今年度要求のポイント】	スケジュール(経過及び今後展開)					
<p>国の第5次環境基本計画ではSDGsの考え方を踏まえた「環境・経済・社会の統合的向上」を目標に掲げている。</p> <p>経済発展と環境配慮を両立した温暖化対策を行うため、クールシティ・堺パートナー制度を通じて参加企業に温暖化対策の普及啓発活動を行い、事業者と連携した気候変動対策を展開していく。</p> <p>また近年、SDGsやESG投資が注目を浴びる中、気候変動対策を経営戦略に取り込み情報公開する企業やRE100に加盟する企業が増えており、これに伴い環境価値の需要が高まっている。</p> <p>こうした世界的な潮流や地球温暖化対策をビジネスに組み込む動きを踏まえ、その一つの具体的な手段であるJ-クレジットを活用し、堺市内で生まれた環境価値の「見える化」を図るとともに、地球環境の保全及び地球温暖化対策の推進に寄与する。</p>	【経過(～元年度)】	【2年度】	【今後予定(3年度～)】			
	金融機関との連携事業(H22～)	うちエコ簡易診断等、低炭素の促進に資する、環境マネジメント、金融商品等の情報発信セミナー、地球温暖化緩和策の普及啓発の実施	市民・事業者の低炭素活動の普及促進			
	エネルギーパーク事業(H22～)					
	パートナー制度の実施(H23～)					
	うちエコ診断の実施(H26～)					
	省エネアドバイザー派遣業務(H27～)					
	その他 特記事項					
	関連事業:					